

総合的な学習の時間

| | | |
|--------------------|----------|--------------|
| 「総合的な学習の時間」 | 単 位 数 | 1 単 位 |
| | 学科・学年・学級 | 海洋科学科 1年A～C組 |

1 学習の到達目標等

| | |
|---------|---|
| 学習の到達目標 | <p>本校独自の特殊な教育活動についての早期の理解と適応を図りながら、2年時の類型選択、及び将来に向けた進路選択能力の育成を目標とする。</p> <p>問題の解決や探求活動に主体的・創造的に取り組む態度の育成と、自己の在り方生き方を考えさせる場の提供を図っていききたい。</p> |
|---------|---|

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

| 学 期 | 学 習 内 容 | 月 | 学 習 の ね ら い | 備 考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など) |
|------------------|-------------------|----------|---|--|
| 第 1 学 期 | 1, 学校理解と適応 | 4 | ・オリエンテーション 学校概要説明, 各類型と進路説明, 高校生生活全般について | 一斉指導及びクラス学習 (各部・各系) |
| | 2, 学校適応と自然体験 | 5 | ・体験航海 体験乗船を通じて, 学級の融和を図りながら, 本校教育活動の特色を理解させる。 (類型選択を行う上での貴重な体験である。) | クラス及びグループ学習 (担任・副担任・進洋丸職員) |
| | 3, 学校適応と進路選択 | 6 7 | 同時に, 環境問題や社会問題についての認識を深める。 ・類型選択説明会 類型選択希望を取る前に, 各類型について, その特色と教育内容, 将来の進路, 留意点等について詳しく説明を行う。 | 一斉指導 (1年学年団) |
| 第 2 学 期 | 4, 自然と環境 | 10 11 | ・経済同友会 (キャリア教育講話) ・鹿児島水族館の館長を招いての講話 環境問題や水産系高校に求められているもの, 生物と人間との関わり, 人としての生き方・在り方に至るまで, 感銘深い講話である。これは, 水産基礎校外研修の事前学習にもなっている。 | 一斉指導及び個人研究 (水産基礎担当者) |
| 第 3 学 期 | 5, 専門性の探求と学習意欲の醸成 | 1 2 | ・3年生の行う課題研究発表の視聴 本校の課題研究は, 例年, 九州大会や全国大会で表彰されており大変質の高いものである。その研究発表を視聴することにより, 2年次の類型選択のための情報提供と, 学習意欲や研究意欲の向上を図る。 ・経済同友会 (キャリア教育講話) | 一斉指導 (海洋科学科) |

3 評価の観点と観点別の評価基準・方法等

| 学年 | 育てたい力 | 観 点 | 評 価 規 準 | 評価方法 |
|-----|-------------|---|--|--|
| 1 年 | 生きる力 学ぶ力 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会性, 協調性 ・適応力 ・自己理解力 ・進路選択能力 ・探求心 ・課題設定能力 | <p>オリエンテーションや体験航海を通じて, 集団生活を行う上での社会性・並びに協調性を発揮できる。新たな環境の元での適応力になっている。</p> <p>自分自身の能力や適性を見極め, 将来の進路を適性を選択しようとする。</p> <p>本校の専門科目との関連だけでなく, 自然や環境等の問題について, 興味・関心に基づいた課題を設定し, 深く研究しようとする姿勢がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内での活動の状況 ・進路選択状況 ・課題の設定と研究状況の観察 |

備考

まとめ取りの形をとっている。週時程には, 火曜日 5 限目に 1 時間を配置している。
しかし, 実質的にくくり入試制度の関係から, 1 年次に専門科目が少ないことを鑑み, 総合的な学習の時間には, 専門科目への橋渡しとしての活用も行っている。よって, 通常は水産基礎の授業を行うことにした。

4 担当者からのメッセージ

本校の日々の教育活動は, 多くの新入生にとって, 初めて学ぶ内容のものが殆どで, 大変特殊であり, 専門性の高いものが多い。よって, 1 年次に「総合的な学習の時間」を配置することにより, 新入生が, 学校の概要と教育内容をきちんと理解し, 適応していくことができるようにすることを, 主たるねらいとしている。また, 実質的にくくり入試制度を導入していることもあって, 2 年次の類型選択が円滑に行えるようにすることも, ねらいの一つである。